

高等教育活性化シリーズ 243 (通算 567 回)

2013 年 9 月 13 日 (金)

特別支援からユニバーサルサポートへ――

発達障害学生の入学・学修支援の実際 II

～中学・高校から大学への留意点／合理的配慮のポイント／教育・生活の質～

- ※ インクルーシブ教育システム／特支教育の動向／10 年ぶりの全国実態調査／自立と社会参加へ
- ※ 高校と大学の学習環境・支援の変化／特性理解と柔軟対応／視覚・真面目さ・応用性への配慮
- ※ 大学はどこまでするべきか／合理的配慮のポイントと実現／重要な情報発信／事前相談

● 講師陣 ●

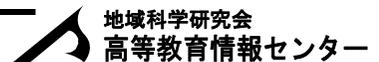
上野 一彦 氏 / (独) 大学入試センター 特任教授 日本LD学会 理事長

佐々木正美 氏 / 川崎医療福祉大学 特任教授

高橋 知音 氏 / (国) 信州大学 教育学部 教授

文部科学省 障がいのある学生の学修支援に関する検討会 委員

2013 年 9 月 13 日 (金) 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町)



日 時：2013 年 9 月 13 日 (金) 10:00～16:50
 会 場：剛堂会館ビル(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので、
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代・税込) 41,000 円
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)
 42,000 円(送料、税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株)地域科学研究会>
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。
 申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 243

発達障害学生の入学・学修支援の実際 II

2013 年 月 日

- (□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
 必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 〃 12:00	<p>□ インクルーシブ教育システムの構築と発達障害支援 ～ 10年ぶりの全国実態調査から見えること～ 大学入試センター 上野 一彦</p> <p>1. 特別支援教育の大きな進展のなかで (1) 特別支援教育の動向 (2) インクルーシブ教育と障害者差別解消法 (3) 「通級による指導」を受けている児童生徒数の推移 (4) 就学指導における就学先状況</p> <p>2. 全国実態調査から (1) 「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」(2012年) (2) 学年進行とともに減っていくのはなぜか (3) フォローアップ調査のポイント (4) 調査から見える今後の課題</p> <p>3. さらなる自立と社会参加を求めて (1) 高等学校や高等教育への波及を考える (2) ライフステージを通しての支援とは 〈質疑応答〉</p>
13:00 〃 14:50	<p>□ 発達障害のある学生への対応の実際—個別の対応と合理的配慮 ～ 高校と大学の学習環境・支援の変化/柔軟な対応と工夫/学修支援～ 川崎医療福祉大学 佐々木 正美</p> <p>1. 高校と大学の学習環境・支援の変化 (1) 学習内容の選択の拡大 (2) 学習への自主性の尊重 (3) 将来の進路の自覚 (4) グループ学習への参加</p> <p>2. 特性の理解 (1) 悪意のない自己中心性 (2) 視覚的・具体的・規則的 (3) 同時総合性の弱さ (4) 習慣性への親和性/予期せぬ事への困惑</p> <p>3. 教育への配慮 (1) 教科書等教材への配慮 (2) 視覚的情報への配慮 (3) 真面目・勤勉さと応用性の弱さへの配慮 (4) TEACCHプログラム・モデル 〈質疑応答〉</p>
15:00 〃 16:50	<p>□ 発達障害のある学生への合理的配慮 ～ 大学は何をどこまでやるべきか～ 信州大学 高橋 知音</p> <p>1. 文部科学省の報告書に見る合理的配慮のポイント (1) 合理的配慮とは? —大学がやらなければならないこと— (2) 発達障害における合理的配慮とは —学修支援を中心に—</p> <p>2. 合理的配慮を実現する支援体制～信州大学「学生支援GP」の取り組みもふまえて (1) 発達障害のある学生の支援に必要な要素とは? (2) 必要な支援を実現する組織のあり方</p> <p>3. 大学への移行期を乗り切るために～支援事例を通して (1) 情報発信の重要性 (2) 事前相談 —特別支援教育と障害学生支援の違い— (3) 「困っていない」心配な学生への対応 〈質疑応答〉</p>